

会 社 名 太陽毛絲紡績 株式会社 グリーンシート銘柄 オーディナリー
 コード番号 3 2 1 1 本社所在都道府県 埼玉県
 本社所在地 埼玉県川口市上青木 5 -5 -9
 代表者 代表取締役社長 内 山 正 治
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 山 中 庸 TEL (048) 265 -2414

1. 平成 23 年 9 月期第 1 四半期の業績（平成 22 年 10 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

- （注） 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査であります。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っておりません。
 3. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

(1) 連結経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年第 1 四半期	172	(24.8)	3	()	11	()
22 年第 1 四半期	138	(36.0)	17	()	27	()

	当 期 純 利 益		1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自 己 資 本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
23 年第 1 四半期	13	()	3.76	・	1.0	0.3	6.8
22 年第 1 四半期	29	()	8.31	・	2.2	0.7	19.5

- （注） 1. 有価証券の評価益 46 百万円 デリバティブ取引の評価損益 百万円
 2. 期中平均株式数 23 年第 1 四半期 3,570,577 株 22 年第 1 四半期 3,570,597 株
 3. 会計処理の方法の変更 無
 4. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率
 5. 潜在株式の存在 無

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年第 1 四半期	3,641	1,267	34.8	355.09
22 年第 1 四半期	3,710	1,314	35.4	368.05

（注） 期末発行済株式数

期末発行済株式数(自己株式を含む) 23 年第 1 四半期 3,589,000 株 22 年第 1 四半期 3,589,000 株
 期末自己株式数 23 年第 1 四半期 18,423 株 22 年第 1 四半期 18,403 株

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
23年第1四半期	61	26	27	197
22年第1四半期	51	1	3	196

2. 平成23年9月期の業績予想(平成22年10月1日~平成23年9月30日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中 間	期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中 間 期	300	18	28			
通 期	880	26	15			

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正 無

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)3円92銭

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績などは、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

第87期 第1四半期報告書

(平成22年10月1日から平成22年12月31日)

会社名(定款上の商号) 太陽毛絲紡績株式会社
 英 文 名 TAIYO WOOLEN SPINNING CO.,Ltd
 コ ー ド 番 号 3211
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 内山 正治
 本店の所在地の場所 埼玉県川口市上青木5-5-9
 電 話 番 号 048-265-2414
 連 絡 者 取締役管理本部長 山中 庸

四半期の業績

(1) 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第87期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成21年10月1日 至平成21年12月31日
売 上 高		172,549	172,549	138,316
売 上 原 価		124,275	124,275	104,448
売 上 総 利 益		48,273	48,273	33,867
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		51,617	51,617	51,009
営 業 損 失		3,343	3,343	17,142
営 業 外 収 益		1,497	1,497	949
営 業 外 費 用		9,857	9,857	10,839
経 常 損 失		11,703	11,703	27,032
特 別 利 益		481	481	3,435
特 別 損 失		2,034	2,034	5,927
税金等調整前四半期(当期)純損失		13,256	13,256	29,524
法人税、住民税及び事業税		162	162	162
四半期(当期)純損失		13,419	13,419	29,687

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第87期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成21年10月1日 至平成21年12月31日
期 中 平 均 株 式 数		3,570,577株	3,570,577株	3,570,597株
1株当たり四半期(当期)純利益		3円76銭	3円76銭	8円31銭
潜 在 株 式 調 整 後 1株当たり四半期(当期)純利益		-	-	-

潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

科 目	期 別	第87期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成21年10月1日 至平成21年12月31日
織 維 事 業		118,249	118,249	83,674
賃 貸 事 業		40,906	40,906	40,282
物 流 事 業		13,393	13,393	14,359

(3) 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	第86期	第87期
		(平成22年9月30日)	第1四半期 (平成22年12月31日)
(資 産 の 部)			
流 動 資 産			
1 現 金 及 び 預 金		190,621	197,487
2 受 取 手 形 及 び 売 掛 金		183,153	147,634
3 有 価 証 券		1,000	1,000
4 商 品 及 び 製 品		180,733	172,319
5 仕 掛 品		1,230	12,186
6 原 材 料 及 び 貯 蔵 品		97,204	96,565
7 そ の 他		17,795	15,224
貸 倒 引 当 金		3,617	3,617
流 動 資 産 合 計		668,120	638,801
固 定 資 産			
1) 有 形 固 定 資 産			
1 建 物 及 び 構 築 物		355,967	349,724
2 機 械 装 置 及 び 運 搬 具		16,629	15,136
3 土 地		2,293,314	2,293,314
4 建 設 仮 勘 定		31,679	58,360
5 そ の 他		6,126	5,655
有 形 固 定 資 産 合 計		2,703,718	2,722,191
2) 無 形 固 定 資 産			
1 ソ フ ト ウ ェ ア		65	247
2 電 話 加 入 権		1,124	1,124
無 形 固 定 資 産 合 計		1,189	1,371
3) 投 資 そ の 他 の 資 産			
1 投 資 有 価 証 券		186,443	183,211
2 長 期 貸 付 金		9,424	9,424
3 保 険 積 立 金		70,307	70,307
4 そ の 他		26,307	25,437
貸 倒 引 当 金		9,424	9,424
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		283,057	278,956
固 定 資 産 合 計		2,987,966	3,002,519
資 産 合 計		3,656,086	3,641,321

(単位：千円)

科 目	期 別	第86期	第87期
		(平成22年9月30日)	第1四半期 (平成22年12月31日)
(負債の部)			
流動負債			
1 支払手形及び買掛金		20,312	18,392
2 短期借入金		117,000	76,667
1年以内に返済予定の長期借入金		338,103	342,312
3 未払金		20,329	19,397
4 未払費用		161	181
5 未払法人税等		650	162
6 未払消費税等		6,514	3,539
7 賞与引当金		500	250
8 その他		16,948	18,556
流動負債合計		520,519	479,459
固定負債			
1 長期借入金		993,729	1,001,923
2 繰延税金負債		20,674	19,332
3 再評価に係る繰延税金負債		665,381	665,381
4 退職給付引当金		1,876	3,407
5 長期預り敷金保証金		170,705	203,925
固定負債合計		1,852,367	1,893,970
負債合計		2,372,886	2,373,430
(純資産の部)			
株 主 資 本			
1 資本金		100,000	100,000
2 資本剰余金		322,741	322,741
3 利益剰余金		106,413	119,832
4 自己株式		926	926
株主資本合計		315,401	301,982
評価・換算差額等			
1 その他有価証券評価差額金		29,119	27,229
2 土地再評価差額金		937,175	937,175
3 為替換算調整勘定		1,503	1,503
評価・換算差額等合計		967,798	965,908
純資産合計		1,283,199	1,267,890
負債純資産合計		3,656,086	3,641,321

記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第86期	第87期
		(平成22年9月30日)	第1四半期 (平成22年12月31日)
発行済株式総数		3,589,000株	3,589,000株
1 株当たり純資産額		359円38銭	355円09銭

発行済株式総数には自己株式数が含まれております。(平成22年9月30日18,423株、平成22年12月31日18,423株)

(4) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本					評価・換算 差額等合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成22年9月30日残高	100,000	322,741	106,413	926	315,401	967,798	1,283,199
第1四半期中の変動額							
四半期純損失()	-	-	13,419	-	13,419	-	13,419
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の第1四半期中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	1,889	1,889
第1四半期中の変動額合計	-	-	13,419	-	13,419	1,889	15,309
平成22年12月31日残高	100,000	322,741	119,832	926	301,982	965,908	1,267,890

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「有価証券報告書 第5 経理の状況 1 [連結財務諸表等] (1) [連結財務諸表] 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項、注記事項」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準 各四半期においては、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
3. 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目の内、重要性の低い項目は、四半期決算書上資産及び負債への計上を省略しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本変動計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

第87期 第1四半期(平成22年10月1日から平成22年12月31日)の業績の概況

当四半期におけるわが国経済は、アジアなどの新興国向けを中心とする輸出の増加やエコポイント制度変更による需要の増加により、一部では景気の持ち直しの傾向が見られました。一方で、米国経済の回復の遅れや欧州ユーロ圏における信用不安、さらには資源や食料の高騰が進行しました。国内経済では、長引くデフレ、円高・株安、雇用・所得環境に改善が現れないことからの個人消費低迷など、景気の先行きには不透明感を払拭できない状況にあります。

繊維業界におきましては、百貨店や量販店での衣料品売上高の一部に改善の兆しが現われましたものの、消費の節約、低価格志向が続くなか、依然として激しい競争環境が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは収益体質の改善、財務体質の強化、新規商品の開発と市場開拓、さらには新しい組織形態の構築を目指し、業務の効率化による経費の削減と製造コストの低減に努めるとともに事業資源の効率的な運用を計ってまいりました。その結果、売上高は172,549千円(前年同期138,316千円)と24.8%の増収となりました。また、営業損失3,343千円(前年同期17,142千円の損失)、経常損失11,703千円(前年同期27,032千円の損失)、四半期純損失13,419千円(前年同期29,687千円の損失)となり、収益面においても前年同期と比較して改善となりました。

第87期通期の売上高及び利益の予測について

第87期通期の売上高及び利益の予想につきましては、当初予想に変更ありません。

(単位：千円)

科 目	期 別	第86期 (実績)	第87期 (予測)
		自平成21年10月1日 至平成22年9月30日	自平成22年10月1日 至平成23年9月30日
売 上 高		830,131	880,000
経 常 利 益		9,710	26,000
当 期 純 利 益		45,641	15,000

資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(連結キャッシュフロー計算書)

(単位：千円)

科 目	期 別	前年同期	第87期
		自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日	自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純損失		29,524	13,256
減価償却費		9,239	8,220
賞与引当金の増加額		2,067	249
受取利息及び受取配当金		808	1,264
支払利息		10,536	9,382
為替差損益(は益)		62	5
固定資産除却損		-	57
売上債権の増減額(は増加)		77,651	35,519
たな卸資産の増減額(は増加)		7,519	1,904
仕入債務の増減額(は減少)		10,816	1,919
長期預り敷金保証金の増減額(は減少)		1,869	33,220
未払消費税等の増減額(は減少)		5,306	2,975
その他		3,836	4,762
小計		62,461	69,596
利息及び配当金の受取額		808	1,264
利息の支払額		11,279	8,476
法人税等の支払額		650	650
営業活動によるキャッシュ・フロー		51,340	61,735
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		1,085	26,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,085	26,932
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額(は減少)		46,000	40,333
長期借入金の借入による収入		684,200	100,000
長期借入金の返済による支出		634,509	87,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,691	27,930
現金及び現金同等物に係る換算差額		62	5
現金及び現金同等物の増加額		54,008	6,866
現金及び現金同等物の期首残高		142,086	190,621
現金及び現金同等物の期末残高		196,094	197,487

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(主な増減理由)

主な増減は以下のとおりであります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期における現金及び現金同等物は、営業活動によって生じた資金を財務活動および投資活動で一部を使用しました結果、197,487千円(前年同期比0.7%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、61,735千円(前年同期51,340千円の収入)となりました。これは主に売上債権の減少および長期預り敷金保証金の増加などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、26,932千円(前年同期1,085千円の支出)となりました。これは有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、27,930千円(前年同期3,691千円の収入)となりました。これは短期借入金の返済による支出と長期借入金の借入による収入によるものであります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第87期 第1四半期 自平成22年10月1日 至平成22年12月31日
短期借入金の増減額(は減少)		40,333
短期借入金の四半期首残高		117,000
短期借入金の四半期末残高		76,667

(主な増減理由)

短期運転資金借入金の返済によるものであります。

(3) 長期借入金 of 増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第87期 第1四半期 自平成22年10月1日 至平成22年12月31日
長期借入金の増減額(は減少)		12,403
長期借入金の四半期首残高		1,331,832
長期借入金の四半期末残高		1,344,235

(注) 長期借入金は1年以内に返済予定の長期借入金を含んでおります。

(主な増減理由)

長期設備資金の借入によるものであります。

その他

期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。